

2023年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年3月16日

上場会社名 VALUENEX株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4422 URL <http://www.valuenex.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 中村 達生
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 CFO (氏名) 鮫島 正明 TEL 03 (6902) 9833
 四半期報告書提出予定日 2023年3月17日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年7月期第2四半期の連結業績（2022年8月1日～2023年1月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第2四半期	278	△6.6	△18	-	△20	-	△20	-
2022年7月期第2四半期	297	72.5	9	-	22	-	21	-

（注）包括利益 2023年7月期第2四半期 △20百万円（-%） 2022年7月期第2四半期 24百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第2四半期	△7.27	-
2022年7月期第2四半期	7.62	7.41

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第2四半期	825	718	86.6
2022年7月期	967	736	75.8

（参考）自己資本 2023年7月期第2四半期 715百万円 2022年7月期 733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年7月期	-	0.00	-	-	-
2023年7月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年7月期の連結業績予想（2022年8月1日～2023年7月31日）

2023年7月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であると判断したため記載しておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年7月期2Q	2,893,300株	2022年7月期	2,889,300株
② 期末自己株式数	2023年7月期2Q	54,000株	2022年7月期	54,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年7月期2Q	2,837,425株	2022年7月期2Q	2,829,453株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は同日にTDnetで開示及び当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「世界に氾濫する情報から”知”を創造していく」ことをミッションとし、他に類のない自然言語処理・類似性評価・2次元可視化・指標化等の技術により、さまざまな文書情報を用いた各種の解析サービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策としての活動制限が緩和されることにより経済活動が徐々に再開されている一方、為替相場の変動やロシアのウクライナ侵攻に起因した資源価格の高騰など、依然として先行き不透明な状態が継続しています。

このような環境の下、当社グループは、引き続き国内及び海外におけるコンサルティングサービス及びASPサービスのさらなる販売拡大に取り組んだ結果、国内のASPサービスを中心に堅調に推移いたしました。また、営業活動等で必要な人材の採用を行いまして、採用は3名となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は278,085千円（前年同期比6.6%減）、営業損失は18,036千円（前年同期は営業利益9,232千円）、経常損失は20,365千円（前年同期は経常利益22,146千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は20,636千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益21,570千円）となりました。

なお、当社グループはアルゴリズム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

主なサービス別の状況は以下のとおりであります。

(a) コンサルティングサービス

当第2四半期連結累計期間におけるコンサルティングサービスの売上高は、104,997千円（前年同期比33.8%減）でありました。

(b) ASPサービス

当第2四半期連結累計期間におけるASPサービスの売上高は、169,834千円（前年同期比26.6%増）でありました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は755,202千円となり、前連結会計年度末に比べ137,887千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が158,064千円、売掛金が2,808千円減少し、仕掛品が17,343千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は70,723千円となり、前連結会計年度末に比べ4,043千円減少いたしました。これは減価償却等によって有形固定資産が2,207千円、投資その他の資産が1,836千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ141,931千円減少し、825,926千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は106,700千円となり、前連結会計年度末に比べ124,107千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が25,229千円、前受金が51,963千円、その他流動負債が47,580千円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は758千円となり、前連結会計年度末に比べ88千円増加いたしました。これはその他固定負債が306千円増加し、リース負債が217千円減少したことによるものであります。

この結果、負債の残高は、前連結会計年度末に比べ124,019千円減少し、107,459千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は718,467千円となり、前連結会計年度末に比べ17,912千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失が20,636千円計上されたことと、新株予約権の行使により資本金が1,244千円、資本剰余金が1,244千円増加したことによるものであります。なお、2022年12月の減資及び欠損填補により、資本金が451,458千円減少し、資本剰余金が182,815千円、利益剰余金が268,642千円増加しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて158,064千円減少し、662,387千円となりました。当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における営業活動の結果、支出した資金は159,216千円(前年同期は25,387千円の支出)となりました。これは主に棚卸資産の増加17,404千円、前受金の減少51,571千円、未払消費税等の減少27,344千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における投資活動の結果、支出した資金は613千円(前年同期は7,701千円の収入)になりました。これは有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における財務活動の結果、取得した資金は2,202千円(前年同期は1,722千円の収入)となりました。これは新株予約権の行使による株式の発行による収入2,420千円とその他に含まれるリース債務の返済による支出217千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月期の通期業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であると判断したため記載しておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	820,451	662,387
売掛金	40,081	37,273
仕掛品	5,513	22,856
その他	27,044	32,685
流動資産合計	893,090	755,202
固定資産		
有形固定資産	52,640	50,432
投資その他の資産	22,127	20,291
固定資産合計	74,767	70,723
資産合計	967,857	825,926
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,167	5,832
リース債務	435	435
前受金	139,418	87,454
未払法人税等	25,374	145
その他	60,413	12,832
流動負債合計	230,808	106,700
固定負債		
リース債務	471	253
その他	198	504
固定負債合計	670	758
負債合計	231,478	107,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	531,458	81,244
資本剰余金	544,627	728,687
利益剰余金	△326,457	△78,451
自己株式	△22,500	△22,500
株主資本合計	727,128	708,980
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,378	6,682
その他の包括利益累計額合計	6,378	6,682
新株予約権	2,873	2,805
純資産合計	736,379	718,467
負債純資産合計	967,857	825,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)
売上高	297,780	278,085
売上原価	59,975	61,964
売上総利益	237,804	216,121
販売費及び一般管理費	228,572	234,157
営業利益又は営業損失(△)	9,232	△18,036
営業外収益		
受取利息	3	3
助成金収入	13,356	-
その他	35	18
営業外収益合計	13,395	22
営業外費用		
支払利息	22	9
為替差損	459	2,342
営業外費用合計	482	2,351
経常利益又は経常損失(△)	22,146	△20,365
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	22,146	△20,365
法人税、住民税及び事業税	576	270
法人税等合計	576	270
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,570	△20,636
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	21,570	△20,636

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,570	△20,636
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,152	303
その他の包括利益合計	3,152	303
四半期包括利益	24,722	△20,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,722	△20,332

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	22,146	△20,365
減価償却費	2,708	2,695
受取利息	△3	△3
助成金収入	△13,356	-
支払利息	22	9
売上債権の増減額(△は増加)	△18,952	4,072
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,331	△17,404
仕入債務の増減額(△は減少)	△58	710
未払消費税等の増減額(△は減少)	△259	△27,344
前受金の増減額(△は減少)	△3,071	△51,571
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△3,129	△6,285
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△4,410	△20,304
その他の固定資産の増減額(△は増加)	813	1,626
その他の固定負債の増減額(△は減少)	65	329
小計	△24,816	△133,837
利息の受取額	3	3
利息の支払額	△22	△9
助成金の受取額	332	-
法人税等の支払額	△884	△25,374
営業活動によるキャッシュ・フロー	△25,387	△159,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△613
敷金及び保証金の回収による収入	7,701	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,701	△613
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	2,319	2,420
その他	△596	△217
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,722	2,202
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,474	△436
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,488	△158,064
現金及び現金同等物の期首残高	708,219	820,451
現金及び現金同等物の四半期末残高	694,730	662,387

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年10月27日開催の定時株主総会の決議に基づき、2022年12月16日付けで減資の効力が発生し、当第2四半期連結累計期間において資本金が451,458千円減少、その他資本剰余金が451,458千円増加しております。また、増加したその他資本剰余金のうち268,642千円を繰越利益剰余金に振り替えることで、欠損填補に充当しております。

また、新株予約権の行使により、当第2四半期連結累計期間において資本金が1,244千円、資本準備金が1,244千円増加しております。

これらにより、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が81,244千円、資本剰余金が728,687千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)

当社グループは、アルゴリズム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)

当社グループは、アルゴリズム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。